

2022年度 事業計画

NPO法人 マンパワーカフェ

2022/5/30

(ビジョン) 心身共に健全で意欲ある企業OBの会員が組織的に地域社会貢献のために活動する名実ともに信頼度の高い NPO法人を目指す
 (ミッション) 企業のOBの保有するスキル・ノウハウを地元中小企業の発展や地域社会の活性化のために再活用し持続可能な社会作り及び地球環境改善に貢献する
 (活動のキーワード) 「役に立つ・学ぶ・楽しむ」をキーワードに活動する

1. 前年度総括と今年度事業計画策定の考え方

当NPO法人マンパワーカフェ(MPC)は、2006年2月(2005年度)に設立、活動を開始し今年で18年度目に入りました。このような中で、昨年度の実績計画は「コロナとの共存、そして回復拡大元年」として、新たな拡大への攻めの一年として取り組みました。回復拡大元年としても、経営計画は、コミュニティ部門を除き、売上は昨年並として売上拡大には依存せず攻めの活動展開を基本としました。結果は、売上も目標達成し、総力挙げてのコロナ禍での管理費の削減が功を奏し、昨年同様に損益の黒字化を実現することができました。今年度は「再度回復拡大を積上げる年」としたいと考えます。主軸であるビジネス部会でもここ10年来の中小企業へのビジネス支援事業の支援項目を見直し、支援案件の拡大と業績改善を目指します。環境部会においてもエコアクション21の支援事業所の拡大を、前年度後期と同様に着実に取り組んで参ります。コミュニティ部会の工科短期大学校への講師受託は、制御系講師の講座拡大に加え、機械系講師の依頼も加わり売上約4倍増の大幅拡大を目指します。

2. 今年度の重点活動内容

「攻めに確実に転じる一年」 …… 売上の確実な拡大と安定黒字化を目指す。

<攻めの活動>

- ・産業支援活動の柱である製造現場改善(生産性向上、コスト改善、品質改善他)
- ・事務的改善(在庫削減、各種管理システム改善、物流改善他)
- ・環境改善(EA21取得支援に加え省エネ改善支援他)
- ・海外への工場進出、立上げ支援(再開)
- ・経営者にとって喫緊の課題である後継者育成プログラムの推進(再加速)
- ・県立短期大学校の講師受託の拡大(2年目)

○更にファミリートレーニング計画により総力挙げてMPCの重要課題の検討を行う。(前年度コロナ再拡大にて未達項目)

【例えば】・若手会員の入会を含めた人材増強策 ・今後手掛けるべき活動内容 等

<守りの活動>

攻めに転じるための守りの強化

- ・個人会員の継続的増強(現会員の高齢化対応)<最重要課題>
- ・NPO法人としての内部体質改善の継続 ①事務の効率化、IT化 ②文書、契約書管理強化 ③規約類の整備

3. 具体的事業内容

産業支援活動

<ビジネス部会>

1)ここ10年来の中小企業へのビジネス支援事業の支援項目を見直し、支援案件を拡大し、業績改善に繋げる。

- ①製造部門への製造技術・技能の支援
- ②自動化、省力化、VA,IT,TPM・製造合理化支援
- ③5S,小集団改善活動・職場改善活動支援
- ④検査、試験、データ管理、不良対策・品質改善、品質管理支援
- ⑤生産管理システムなど各種システム構築、導入の支援
- ⑥製品開発、部品開発・設計、試験・開発業務支援
- ⑦経営管理、営業、資材、経理、総務・業務支援
- ⑧国内外の新工場立ち上げ等各種プロジェクトへの参画

2)支援業界を広げ、支援先の拡大を図る。…今一度深堀して新規支援先の拡大を図りたい。

- ①空調機、冷蔵庫部品加工・90%支援の主体である。
- ②自動車部品加工・食品加工・機械設備業界・照明機器・印刷・運搬・新規支援先の開拓を図る。
- ③海外工場・タイ、中国、香港、インドネシア・コロナ禍で現在待機中

<環境部会> エコアクション21の事業拡大発展戦略

①EA21の認証登録事業所への支援内容の拡大と向上(省エネ診断チェックシートの活用)

- ・中間・更新審査時指摘事項の対処を糸口として経営者との面談頻度を増やし支援増を図る。
- ・2017年度版への乗り移りを切り口として、経営者との面談頻度を増やし支援増を図る。
- ・EA21要求事項の一つである「自らが生産、販売・提供する…」を取り組みの切り口として、省エネ・QC活動の拡大を図る。
- ・使用エネルギーの分析と改善・分析方法や分析ツールの提案と改善実施等の工程改善支援。
- ・省エネ等優良企業の活動内容を紹介し、顧客の更なる活動推進に寄与する。
- ・環境部会支援先での優れた活動事例を部会内で研修し、支援先への提案の一助とする。
- ・補助金申請代行業務の推進。

②EA21の支援事業所の拡大

- ・営業活動強化継続(地方自治体及び商工会議所への活動)
- ・新規事業者の発掘(地域事務局との連携・既支援先への新規支援先紹介依頼他)
- ・中小企業に対しBCP、IoT、SDGs、DX導入を支援する。
- ・ビジネス部会巡回時に環境部会メンバー1名同行しEA21を説明する。
- ・審査員からの紹介企業の拡大。
- ・営業活動強化継続

③認証取得の提案・支援 :ISO9001、ISO14001、及びISO45001 提案・支援

④新規会員の増強 ・個人会員及び法人会員の加入促進

⑤しずおかSDGs・ESGの取り組み検討

地域支援活動 <コミュニティ部会>

1) パソコン教室: マンツーマン指導の価値を大いに活かしていく。

- ①講師陣: 大石講師(総括)、飯塚講師、八木講師、石上講師、寺田講師 (5名)
- ②「市民活動センター教室」は受講生に対して、毎月定例の講師勉強会の実施により更に充実した運用を行う
- ③「わらびこ教室」は年1回の開催を継続 (今年は6月から8月にかけて6回実施予定)
- ④出前パソコン教室(目標20回/年以上)も積極的におこなう

2) 静岡県立短期大学校の講師受託:2年目の大幅な受託分野拡大を目指す。(講師数は約倍増、売上は約4倍増)

機械制御科にて初年度の制御系講師に加え、2年度は機械系講師依頼も加わり学科の両主軸を受け持つこととなる。

講師陣 前年度: 4名

今年度: 8名